



研修の理念と目標

医療の現場において、高度な臨床実践能力を発揮し良質で安全な医療を提供するためにチーム医療のキーパーソンとして機能できる看護師を育成する。



研修の特徴



万全な指導体制

多職種連携チームによる会議で、あらゆる視点から学ぶことができます。医学的視点を学ぶことで、改めて看護学的視点を深めることができます。



スキルアップラボ室でトレーニング

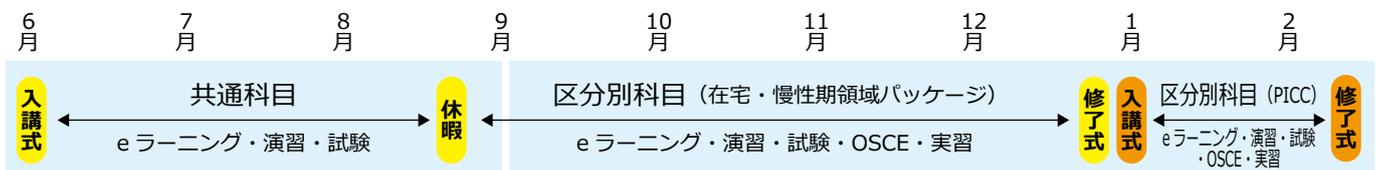
多様なシミュレーターやモデルを活用し、実践に近い技術トレーニングやシミュレーションが行えます。



研修修了者へのアフターフォロー

研修修了後には、フォローアップ研修を年1～2回開催し、それぞれの活躍をサポートします。

年間スケジュール



プログラム

ロングタームケア



【在宅・慢性期領域パッケージ】

- ・呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連・・・気管カニューレの交換
- ・ろう孔管理関連・・・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
- ・創傷管理関連・・・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
- ・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連・・・脱水症状に対する輸液による補正

【区分別科目】

- ・栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連

広島西医療センター独自の補講を実施しています

フィジカルアセスメント身体診察（JNPによる指導） 5時間



医療安全 RCA 分析（医療安全管理係長による指導） 6時間



エコーの取り扱い（JNPによる指導） 1時間



その他にも



- ・チーム医療へ参加（NST・AST）各2時間
- ・診療録の記載について（JNP補講）2時間
- ・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連（指導医による追加補講）2時間

研修を終えて — 研修修了生から —



病気に関する理解が深まります

<在宅・慢性期領域パッケージ>

特定行為研修では、38行為に関わるすべての分野の病態生理やフィジカルアセスメントなどを学習することができます。

患者さんに行われている治療についても理解が深まるため、研修修了後の看護に活かされています。

<末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理関連>

エコーガイド下で動脈や神経を回避しながら確実に静脈を穿刺していきます。ただ処置を実践していくのではなく、看護師としての視点で観察や声掛けができるのも特定看護師の強みです。